

今場所8番勝って大関復帰を期する関脇佐賀ノ海は、先場所は白星なしの初日から7連敗で途中休場した。「佐賀は一体どうしてしまったのか？」という周囲から心配の声が上がっていたが、どうやら膝に故障を抱えていたらしい。場所前に治療に専念し、完治とまではいかないがだいぶ復調しているとのこと。

果たして本場所での相撲はどうかと注目されたが、初日は2連敗している出羽翼戦。立合いにやや押し込まれたが、そこから伝家の宝刀のど輪に行く、出羽も堪える腰なく、押し倒して今年初めての白星を手にした。

二日目は連覇を狙う大神楽との一戦だったが、立合いに上手を引くかなりの掛かるような投げを見せるものの見事に決まった。佐賀の上手がなかつたが、強い佐賀復活を印象づける一番だった。三日目は千代鈴に敗れたものの、大関復帰のスタートとなった。

平幕では、評判とおり、綱乃花が3連勝と白星を重ねた。「前半戦に負けなしで行けば、後半で上位と当たって9勝2敗くらいの成績を残せば優勝争いに加われるな」というのが友砂親方の目論見らしい。でも、3番を限りにその強さは際立っていて、早くも上位陣が崩れる中、平幕優勝も十分あり得る状況だと思われる。綱乃花の四日目を降の相撲に注目だ。



綱乃花○(押し倒し)●若 柱



佐賀海○(上手投げ)●大神楽



佐賀海○(押し倒し)●出羽翼

幕内9人の勝間田部屋の平幕下位力士が絶好調。前頭九枚目の朱雀湖、前頭十二枚目の鳥海波前頭十三枚目の六歌仙が3連勝とした。その煽りを食って、西神門、黒雲海は反対に3連敗。今後、綱乃花との対戦が組まれるだろうが、この中で誰が優勝争いに残ってくるのか注目したい。(錦風)

### 十注目目の蜜国は2勝7敗

十両は三日目を終えて龍不動、夢ノ花、吉備の里、磯自慢、真田丸の5力士が3連勝スタートを切った。

龍不動は十両に陥落したが、一場所で戻る勢いだ。得意の右からの攻めが冴えて相手を押倒す相撲を見せた。播磨屋親方も、この結果にまずはひと安心といったところだろう。

十両3場所目となる夢ノ花は3戦とも左差しから慎重に寄っての勝ち。ここは大勝ちして一気に入幕を狙ってもらいたいところだ。

これまで十両に上がるとなぜか思うように力を出せずにいた吉備の里。こちらも安定した寄りで対戦相手をねじ伏せる相撲をみせた。先場所ようやく勝ち越したことで肩の力が抜けたのか、ようやく自分の相撲が取れてきたよう。これからの取り組みにも期待が持てる。

もう一人磯ノ海部屋から3連勝なのが磯自慢。二日目に蜜国との一番を制し、またもキラー振りを発揮、意外と今後台風の目になっていくかもしれない。



蜜 国●(押し倒し)○磯自慢



西 安●(押し倒し)○龍不動

そしてようやく関取の地位を掴んだのが真田丸。「育成会、幕下と長かったけど、よく昇進したよな」と鹿賀乃戸審判長。好発進に浮かれずに先ずは勝ち越して更に星を重ねていきたい。

今場所の十両は先場所の暫のような飛びぬけた存在もなく、最後まで誰が優勝に絡んでいくのか予想がつかない。

そんな中でも注目を一手に集めるのが富士浪部屋の蜜国。関取になってどういった相撲を見せるのか場所前からの期待は高まる一方。体重は関取最重量の178キロと大幅に増量。しかしこれからは吉と出るか否かはわからないが、気合の程は十分といったところ。

まず初日は英風と対戦。慎重な立ち合いから最終相手を正面に置いて最後は押し倒しに下し嬉しげに初白星。二日目は磯自慢に初黒星を喫したが、三日目には角武蔵を難なく下して2勝1敗としてますますは無難な滑り出しを見せたと言っている。



角武蔵●(押し倒し)○蜜 国



英 風●(押し倒し)○蜜 国

ただ心配な点を挙げるとすれば、増量したことにより、やや動きに軽快さが足りない辺りだろう。四日目を以降の相撲からも目が離せないだろう。

再十両勢では、磯燕と桃乃洲が2勝をあげ白星を先行させた。磯燕は黄色の廻しに替えて心機一転、吉備の里、磯自慢とともに波に乗っていきけるか、目指すのは十両定着ではなく幕内返り咲きだ。

下位では麻縄部屋の剣竜と祭ノ城が3連敗で、いきなり陥落が危ぶまれるピンチに立たされた。

(勝間田)

## 古今東西

### 紙相撲豆知識 ⑥1 3横綱撃破

小結鹿富士が初日から3横綱を連破。3横綱の時代はこれまで7時代、34場所。その中で1場所です3横綱に土を付けたのは昭和29年第24回場所、当時大関の照の花以来、68年ぶりの快挙だ。

① 富士昇、荒登、田子浦時代 (第16、24回、9場所)

第24回 大関 照の花

七日目 ○(寄り切り) ●富士昇  
九日目 ○(寄り倒し) ●荒登  
十日目 ○(押し倒し) ●田子浦

② 辰輝灘、富士登、扇灘時代 (第6、5、6、6回、2場所)

③ 扇灘、岩湊、鬼錦時代 (第8、5回、1場所)

④ 鬼錦、虎の富士、英時代 (第9、9、1、0、2回、4場所)

⑤ 英、鞍ノ城、蛮勇時代 (第1、2、3、5、1、3、0回、8場所)

第1、2、5回 前1 鬼無双(参考)

二日目 ○(付き腹) ●蛮勇  
三日目 ○(押し倒し) ●英  
七日目 □(不戦勝) ■鞍ノ城

⑥ 鞍ノ城、若ノ嶋、美空富士時代 (第1、4、2、5、1、4、7回、6場所)

⑦ 若ノ嶋、美空富士、春ノ翔時代 (第1、5、3、5、1、5、6回、4場所)

初日 ○(寄り切り) ●美空富士  
二日目 ○(寄り切り) ●若ノ嶋  
三日目 ○(寄り切り) ●春ノ翔

第1、5、6回 小結 鹿富士

同日 ○(寄り切り) ●美空富士

同日 ○(寄り切り) ●若ノ嶋

同日 ○(寄り切り) ●春ノ翔

同日 ○(寄り切り) ●若ノ嶋

同日 ○(寄り切り) ●春ノ翔